



行事を通した成長

副校長 大山 泰政

先日は天候に恵まれ令和6年度運動会を無事に挙行することができました。多くの保護者の皆様の声援をありがとうございました。当日に向けての準備や練習を頑張ることへの励まし、体調管理といったお力添えを頂いての行事成功となりました。近隣の皆様には音や砂ぼこり等でご不便やご迷惑をおかけしたかと思ひます。ご協力いただきありがとうございました。本校では1年生・3年生・5年生は表現種目と団体種目、2年生・4年生・6年生は表現種目と短距離走という構成になっています。午前中のみの開催という制約の中で、児童にとって単調にならず保護者の皆様にも見ごたえのある運動会にしたいという願いを込めております。複数回実施することで来年は表現と〇〇だ、というイメージが湧きやすいという利点もあります。次年度の参考になれば幸いです。また、後のページに運動会スナップとして何枚か写真を掲載しましたのでご覧ください。

今年度は白組の勝利となりました。団体種目で赤組が勝つ場面が多かったので短距離走での記録が積み重なっての記録だったと思います。一人一人が全力で種目に取り組んだ結果でした。練習から教師がその時間に取り組んだ練習した中でのよさを見つけ褒めることでモチベーションを高めて臨むことができたことと全学年を近くで見えて感じました。また、整列のしかたや児童同士の声かけ、教室から体育館や校庭への移動といった演目以外の部分での成長も感じられました。ある担任に児童の成長について聞いてみたところ、友達と関わる部分が多くなり友達と楽しそうに過ごす場面が今までよりも見られるようになったこと、体育と関係のない教科でもノートの取り方を自分から改めようとする様子が見られた、という話を聞くことができました。

それを聞き、先輩の先生が指導の際に言っていた言葉をふと思い出しました。それは、「竹は節目があるから強い風が吹いたとしてもしなやかに曲がり元に戻り、まっすぐ伸びる。」というものです。きっと運動会という行事に向けた取り組みも、その学年の子供たちにとって一つの節目となり成長させているのだと感じました。

また、運動会の次の日だった10月27日は、平山季重まつりが開催されました。その中で武者行列が出発した後、太鼓の演技発表がありました。その中でソーラン節やひのソングなど児童が運動会で発表した曲の出し物があり、演技経験者の児童達複数名が有志として踊りの発表をしました。ソーラン節は5・6年生児童だけでしたが、ひのソングの際は3年生以上ということで多くの児童が参加して会場を盛り上げました。同じ振り付けを踊ることで異学年でのダンスコラボといってもよい発表となり、声を発せず目くばせだけで、ずらしを加えた発表にしてしまうことは大したものだなあと感じました。これも行事で学んだことと言えます。

全校での取組として次は文化的行事が2月に行われます。仕上げた作品をみてもらうものとなります。こちらも成長を実感できるよう教職員全体で連携してまいります。よろしくお願いします。



[illegible]

運動会スナッフ

大きな声援をありがとうございました！

今年度も運動会を保護者の皆様から多くの声援を児童に送っていただきありがとうございました。また、発表学年に応じた優先学年スペースを譲り合っての参観にご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年度復活した赤組・白組の応援団や選抜リレーは今年度も盛り上がり、全校児童が一丸となって応援する姿が全校を沸かせました。各学年の表現は練習の成果を発揮し、最高の演技を本番で発表することができました。元気よく楽しそうに表現する姿が印象的でした。

今日まで子供たちを支え、励まし、送り出してくださいました保護者の皆様、ありがとうございました。当日の運動会の様子を以下に一部掲載します。





平山小学校 公式ホームページにも当日の様子が分かるように写真付きで紹介しています。(スマートフォンからも確認できます。) 行事以外にも、日々の学校の様子が記載されていますのでぜひご確認ください。

